

とよた市議会だより



特集：特別委員会の調査研究結果 (P.2・P.3)

光
ある
ミライのために!

小学校の授業の様子(挙母小学校)

目次

■ トップインフォメーション	特別委員会の調査研究結果	2
■ 議案説明・討論	条例の制定・一部改正、平成30年度一般会計予算など	4
■ 常任委員会・討論	付託案件を審査	5
■ 議案審議結果		8
■ 代表質問	各会派の代表が市長に質問	10
■ 一般質問	市政を問う! 14人の議員が質問	12
■ トピックス	平成30年度当初予算を審査 市民シンポジウムの報告・小学校議会傍聴等	15

表紙の写真と関係議案

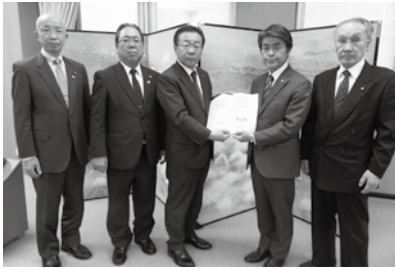
表紙の写真は議案65号豊田市教育行政計画の策定に関連し、小学校の授業風景です。計画では、多様な市民一人ひとりが自ら学び、地域と共に育ち合う教育の実現を基本理念に掲げ、豊田市の教育を推進していきます。詳細は4ページをご覧ください。

定例会号

3月市議会



特別委員会の調査研究結果



市議会では、議案や予算決算を審査している常任委員会とは別に、市の重要な課題の検証や議会の活性化に向けた取組を専門的に調査・研究する特別委員会という組織を設置しています。
今回は、調査・研究してきた内容を報告します。

◀市長へ報告書を提出

※報告書の詳細はページ右下(QRコード)からご覧ください

議会力向上特別委員会

提言 議会の監視機能を十分果たすため、市の重要な政策への関与を強化します!

調査研究事項

- 1 議員提出条例の検討
(1) 議決事件の拡大 (2) 市民生活に密着した政策条例 (3) 既存の条例の検証
- 2 効果的なタブレット端末導入の検討

具体的な提言内容

- 1 議員提出条例の検討
 - (1) 議決事件の拡大等
 - ・本市と国内外の姉妹都市、友好都市及びその他市政運営上特に重要と認められる、都市間の提携・協定の締結、変更及び廃止を議会の議決事件とする。
 - ・議決の対象外の都市間の提携・協定の締結、変更及び廃止について議会へ報告する。
 - (2) 市民生活に密着した政策条例
 - 課題解決及び施策の推進に資する自転車の安全・安心利用等に関する条例について、引き続き検討していく。
 - (3) 既存の条例の検証
 - 豊田市議会基本条例について、改選後に社会情勢の変化に応じた規定の見直しの検討や取組状況の確認及び評価を実施する。
- 2 効果的なタブレット端末導入の検討
 - 改選後の導入に向け、平成30年度の試行導入を見据えて、引き続き検討を行っていく。

行政視察

議員提出議案の取組及び効果的なタブレット導入について視察

- 1 実施期間:平成29年10月31日(火)～11月2日(木)
 - ・京都府京都市／議員提出議案の取組、議会の議決事件
 - ・広島県呉市／議会の議決事件、タブレット端末の導入・活用
 - ・滋賀県／議員提出議案の取組、議会の議決事件
 - ・滋賀県大津市／議会の議決事件、タブレット端末の導入・活用



▲大津市視察の様子



豊田スタジアムを生かしたまちづくり特別委員会

提言

ラグビーワールドカップ2019™を契機として豊田市の魅力を向上!

調査研究事項

ラグビーワールドカップ2019™の国内会場の一つである豊田スタジアムを生かし、本市として大会成功、広域スポーツ振興、地域活性化に寄与し、国際都市としての更なる飛躍、発展等を目指し調査・研究を行う。

- ①多くの来訪者を呼び込むための戦略
- ②来訪者を迎えるための環境整備
- ③大会期間中の交流、おもてなし
- ④大会を契機としたまちの魅力向上
- ⑤大会を契機とした効果、施策

具体的な提言内容

5つの調査研究事項から以下のとおり提言

- 1 多くの来訪者を呼び込むための戦略
 - (1) 近隣スタジアムと連携を密にして大会開催都市間の回遊を促す取組
 - (2) アンケートやアプリを活用した来訪者意見の吸い上げによる“豊田市磨き”
- 2 来訪者を迎えるための環境整備
 - (1) 豊田スタジアム周辺の道路施設等整備及び先進的な移動支援 (FCVバス、Ha:mo、ウイングレット等) を活用した渋滞対策
 - (2) 駅からスタジアムまでの動線へのインフラ (トイレ等) 整備及びカフェや物販店舗の参入の推進
- 3 大会期間中の交流、おもてなし
 - (1) 豊田スタジアムでの試合開催国の食生活や豊田市の地元食材を通じた交流機会の創出とSNSなどを活用したPRの強化
 - (2) ボランティア研修及び地域を巻き込んだおもてなし資質の向上
- 4 大会を契機としたまちの魅力向上
 - (1) インバウンドにつなげる文化歴史、最先端技術を活用した観光の産業化と産業交流の創出
 - (2) 国内外へわがまちアスリートや伝統文化などのPRを通して人材の育成や発掘による地域の活性化
- 5 大会を契機とした効果、施策
 - (1) 大会ボランティアが今後も活躍できる体制の構築
 - (2) スタジアムの更なる活用による稼働率の向上と市民の憩いの場の実現

世界一熱いラグビーを届けよう。

TRY FOR ALL
RUGBY 2019 AICHI-TOYOTA



▲バルセロナ市内視察の様子

行政視察

2019年のラグビーW杯、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、過去にどのような準備をしたのか、大会を契機とし「まち」がどのように変わったのか、また、大規模スタジアムを生かしたまちづくりなど様々な視点で視察

1 実施期間: 9月26日(火)～10月5日(木)

・フランス・スペイン / ①フランスラグビー連盟 ②スタッド・ドゥ・フランス ③ユーラリール・新交通システム ④スタッドピエール＝モーロワ ⑤カンパ・ノウ ⑥Open Camp ⑦バルセロナ市内 ⑧スタジアム・ミュニシバル・ドゥ・トゥールーズ ⑨エアバス本社工場 ⑩スタッド・ピエール・アントワヌ ⑪スタッド・ドゥ・ラ・モッソン ⑫モンペリエ観光局・市役所



▲スタッド・ドゥ・フランス視察の様子

2 実施期間: 11月7日(火)～11月9日(木)

・京都府京都市 / 外国人受入環境整備の取組
 ・兵庫県神戸市 / ラグビーワールドカップ2019™大会成功及び大会を契機としたまちづくりの取組
 ・福岡県福岡市 / ラグビーワールドカップ2019™大会成功及び大会を契機としたまちづくりの取組

報告書の詳細はこちらから▶





条例の制定・一部改正、平成30年度一般会計予算など68議案を議決

豊田市駅周辺の路上喫煙を防止します！

【議案第1号】路上喫煙の防止等に関する条例

市民の身体や財産にかかる被害を防止し、安心かつ安全で快適な生活環境の確保のために路上喫煙の防止等に関して必要な事項を定めます。



▲名鉄豊田市駅デッキ下喫煙ブース

豊田スタジアムのメインマスト等を修繕します！

【議案第57号】工事請負契約の締結

(豊田スタジアムメインマスト及びサブトラス修繕工事)

曲豆田スタジアムの固定屋根の機能維持と建物構造体の予防保全のために、老朽化してきた塗装を改修します。予算は4億1,364万円を見込んでおり、再塗装完成は平成31年2月28日の予定です。



▲豊田スタジアム

地域と共に学び合う教育の実現に向けて、新たな教育行政計画がスタートします！

【議案第65号】豊田市教育行政計画の策定

第2次豊田市教育行政計画の計画期間の終了に伴い、本市の教育のより一層の振興をめざして、国・社会の動向や本市の現状と課題を十分に踏まえながら、教育行政の方向性を明らかにするとともに、真に必要な取組を着実に実行するため、新たな教育行政計画を策定します。期間は平成30年度(2018年度)から33年度(2021年度)までです。



▲小学校での授業の様子

討 論

3月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。*発言順に記載
(議案・請願は8・9ページ参照)

根本美春
諸 派

豊田スタジアムへの市の税金
投入、累積加算で増大、反対

山田主成
自民クラブ

将来への投資や市民の安全・
安心を確保する予算、賛成

議案第29号：反対。市民から3,736名の署名がつけられて請願が提出されているように、市民意見との調整が熟さないままでの市民山の家廃止を決定することは問題であり、反対。

議案第44号：反対。防災ラジオや中学校の教室へのエアコン設置予算など評価できる面もある。しかし、原発関係の電源立地地域対策交付金や放課後児童クラブの運営、こども園、中央図書館など民間移管を進め教育・子育て分野の公的責任を後退させる点、多額の税金を投入し続ける豊田スタジアムなどの予算を鑑み、反対。

議案第29号：賛成。市民山の家利用者は、減少傾向が続き、定員稼働率も45.5%と低いことなどもあり、廃止決定もやむを得ないと考え。身近な市内での観光に期待する声も多く、今後は、市内の豊富な観光資源の魅力を高める取組に期待し、賛成。

議案第44号：賛成。防災ラジオの普及、小中学校へのエアコン整備や自民クラブ議員団が継続要望している普通建設事業費も、平成30年度372億円が計上されるなど市民の安全・安心と市内経済の活性化などに結びつくものとして評価し、賛成。



予算決算 委員会

3月2日から3月20日にかけて委員会及び分科会が開催され、付託された平成29年度補正予算14議案、平成30年度当初予算13議案を審査し、すべての議案を承認しました。

●一般会計予算 非常備消防費

質問 消防団70周年記念行事では、PR動画を作るとのことだが、動画を記念事業やその後のPR活動にどのように活かしていくか。

答弁 動画の活用については、地域イベント、大学祭などでの消防団の入団促進活動、消防団充実強化大会での上映会、そのほか、市ホームページ及び消防本部フェイスブックでの配信を予定している。動画を活用し、消防団のやりがいや魅力をわかりやすく紹介することで、消防団活動への理解の促進につながるものと期待している。



産業フェスタにて消防団PR

●一般会計予算 コンピュータ教室機器整備費

質問 ICT機器の整備は、豊田市学校教育情報化プランに基づいて行っているが、今後の方向性はどのようなか。

答弁 平成28年度から計画的に整備を進め、平成30年度のタブレット一体型パソコンの整備をもって、プランで示しているICT機器のハード整備は概ね完了する。今後は、整備されたICT機器を効率的に活用し、児童生徒の情報活用能力や新学習指導要領が定めるプログラミング教育による論理的思考力を高める情報教育の推進を図っていく。



タブレット端末を活用した授業の様子

●国民健康保険特別会計予算 保険給付費等交付金

質問 新制度の保険者努力支援制度について、本市の努力・取組により1億7,400万円余を獲得しているが、12の評価指標のうちのびしろがあると思われる項目や課題とされる指標は何か。また、満点を目標とするにあたり、インセンティブをより確保するために必要とされる取組をどのように考えているか。

答弁 新制度の12の指標のうち、課題があるものの、特にのびしろがある指標については二つあり、一つ目は、特定健康診査の受診率・特定保健指導の実施率の向上。二つ目は、がん検診受診率の向上である。これらは、いずれも全国自治体の上位5割以上にあたる受診率を達成しているかというもので、指標を達成すると110点が加点される。

次に、インセンティブをより確保するための取組については、保健部と連携し、より点数が多く獲得できるよう取り組んでいく必要があると認識している。

岡田 耕一
諸 派

リゾート安曇野の存続を
願う3,736名の想い、同意

議案第25号：賛成。利用者減少、近隣プールで対応可能と判断されること、老朽化したプール修繕には多額の経費が必要と想定されること等を総合的に判断すれば、廃止もやむを得ない。今後、プールの新設、拡充等適切に協議、判断されることを期待し、賛成。

請願第1号：同意。リゾート安曇野の存続を願い、利用料金の値上げも容認し、将来的に廃止するとしても、一定の猶予期間を設けて欲しいという実現の可能性がある提案である。署名者3,736名の想いを酌み、本請願に同意。

古木 吉昭
市民フォーラム

全ての人が快適に過ごせる
豊田市となることを期待し、賛成

議案第1号：賛成。多くの人が訪れる名鉄豊田駅前広場等で路上喫煙禁止区域を指定する等の啓発をおこない、快適な都市環境を確保することを確認。今後は、目指す姿であるポイ捨てのない全ての人が快適に過ごせる豊田市となることを期待し、賛成。

議案第65号：賛成。前計画の評価を反映させ、いじめ・不登校対策などの重点施策に取り組むこと等を確認。今後は、豊田市教職員多忙化解消プランをもとに時間外勤務の削減などに取り組み、子どもと向き合う時間の確保につながることを期待し、賛成。

田代 研
公明党

基本理念「まちぐるみ心と
からだの健康づくり」を推進、賛成

議案第64号：賛成。健康づくりの取組を市全体で効果的に推進していくため、市民一人ひとりの意識や行動が段階的に発展していく施策を展開することで、基本理念の推進を確認。これにより、市民の健康増進が図られることを期待し、賛成。

請願第1号：不同意。市民の余暇活動が多様化してきている中、市民山の家に限定する必要はないと考える。開設から27年を経て、老朽化による施設の維持・管理運営費の増大を考えると、指定管理が終了するタイミングでの廃止は妥当であり、不同意。



3月1日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、予算決算委員会を含む6つの常任委員会でを行いました。委員会の審査内容について、主な質問と答弁を要約して紹介します。

産業建設 委員会

3月12日、付託された10議案を審査し、議案のすべてを承認しました。また、請願1件は不採択としました。

【第25号】都市公園条例の一部を改正する条例

質問 毘森公園水泳場跡地をなぜ芝生広場とするのか。

答弁 芝生広場とすることで、多くの市民が軽スポーツを楽しむ都心のオアシスが形成される。また、毘森公園は中心市街地における広域避難地として指定されているため、災害時には重要な防災拠点となることが想定されており、水泳場跡地を芝生広場とすることで災害の際の市民の避難場所等として非常に有効なことから、毘森公園整備計画が策定されるまでは、構造物を設けず芝生広場とすることとした。【写真有】

【第29号】市民山の家条例を廃止する条例

質問 市民山の家廃止後の市民の余暇活動に対する支援はどのようなか。

答弁 今後は、市内の余暇・観光資源の活用を図ることに注力していく。市内観光の推進施策として、多くの市民に市内各地を訪れてもらえるように道の駅どんぐりの里いなぶや、旭高原の再整備、民間宿泊施設のトイレの洋式化改修補助などの施設整備の支援を行う。

また、観光地ブランドの構築やターゲットを絞った効果的なプロモーションの推進なども進めていく考えである。



毘森公園水泳場

環境福祉 委員会

3月13日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第18号】知的障害者グループホーム条例の一部改正条例

質問 障害者総合支援法の改正内容はどのようなか。

答弁 今回の障害者総合支援法の改正の主な点は、障がい者が住みなれた地域で、より安心して暮らすやすく、また、仕事を継続していくための支援を一層充実させることに重きをおいている。例えば、障がいのある方が仕事に就いた後、職場の環境を整え、変化に適應できるように支援する就労定着支援やグループホームから新たにひとり暮らしを始めた人を定期的に訪問したり、相談を受ける自立生活援助といったサービスが追加されている。

【第64号】健康増進計画の策定

質問 誰もが健康づくりを継続できる具体的な取組はどのようなか。

答弁 具体的な取組としては、2点あり、1点目は、地域健康カルテを活用したまちぐるみで取り組む健康づくりである。PDCAサイクルに基づき、地域特性に応じた28の中学校区ごとに、健康づくりを推進していく。2点目は、介護予防のための元気アップ事業を自治区の集会場など身近な場所で開催して参加を促したり、教室修了者等による自主グループの活動を継続的に支援し、環境の充実に努めていく。



元気アップ事業の様子

教育社会 委員会

3月14日、付託された6議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第15号】青少年育成施設条例の一部改正条例

質問 とよた子どもの権利相談室の移転スケジュールと業務への影響はどのようなか。

答弁 青少年センター会議室Aの廃止後、速やかに改修工事を行い、8月1日から移転し、相談業務を開始する予定となっている。

7月29日の日曜日までは、A館 T-FACE 9階で業務を行い、業務を行っていない月曜日、火曜日を利用して引越しを行う予定であり、相談業務に影響は出ないと考えている。【写真有】

【第65号】教育行政計画の策定

質問 第2次教育行政計画との違いは何か。

答弁 第2次計画の理念を引き継ぎつつ、国・社会の動向や、市の現状と課題を踏まえ、重点的に取り組むべき施策を的確に設定した。特徴的なものとして、中央教育審議会の答申への対応として、コミュニティ・スクール推進事業や地域学校共働本部設置拡大事業を位置付けた。

また、改訂された学習指導要領への対応として、主体的・対話的で深い学び推進事業を位置付けた。



とよた子どもの権利相談室



委員会

地域生活 委員会

3月15日、付託された3議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第16号】自転車等放置防止条例の一部改正条例

質問 四郷駅周辺の土地区画整理により見込まれる利用数の増加見込みと、今回整備される駐輪場の収容能力についてはどのようなか。

答弁 平成29年11月に実施した実態調査では、四郷駅駐輪場の利用台数は約140台、パーソナリッブデータなどにより、土地区画整理完了後の利用台数は約200台を想定している。今回整備する駐輪場の収容能力は220台あり、必要な台数分は確保されていると考えている。【写真有】

【第28号】水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正条例

質問 今回の事業期間である平成34年度末において、公共下水道の普及率および汚水処理人口普及率は何パーセントとなるか。

答弁 計画処理人口等を変更した区域の整備が完了した平成35年4月1日の公共下水道普及率は約76パーセント、汚水処理人口普及率は約93パーセントになる見込みである。



四郷駅駐輪場

企画総務 委員会

3月16日、付託された15議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第3号】個人情報保護条例の一部改正条例

質問 条例の一部を改正することによる市民への影響及び市職員の業務への影響はどのようなか。

答弁 改正の趣旨は、個人識別符号や要配慮個人情報といった新たな定義を加えるなどによって、市が保護の対象とすべき個人情報の範囲を明確にするものだが、明確になっていなかったこれまでも個人情報として保護の対象としていることから、取扱いが変わるものではなく、市民に対しても市職員の業務へも影響はない。

【第10号】市税条例の一部改正条例

【第11号】都市計画税条例の一部改正条例

質問 議案の上げがこの時期になった理由及び認定市民緑地の用に供する土地に対する課税標準額の特例割合を2分の1とした理由はどのようなか。

答弁 議案の上げが本定例会になった理由は、認定市民緑地の制度が平成29年6月の都市緑地法の改正により、創出された新たな制度であり、制度の運用における課題の整理と、本市の特性に適した有効的な運用方法の検討に時間を要したからである。

また、特例割合を2分の1とした理由は、認定市民緑地の対象区域である緑化重点地区における更なる緑地の創出のためには、土地所有者が特例措置による税負担の軽減を最も受けられる割合にすることが効果的であると判断したためである。

議員提出議案第1号

豊田市議会の議決すべき事件に関する条例の一部改正条例

・主な改正点

市が他の地方自治体（外国の地方自治体を含む）と提携及び協定を締結、変更または廃止する時は議会の議決が必要となります。内容は下線のとおりです。

（趣旨）

第1条 この条例は、他の条例に定めるもののほか、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第2項の規定に基づき議会の議決すべき事件を定めるとともに、議会に報告すべき案件について定めるものとする。

（議会の議決すべき事件）

第2条 議会の議決すべき事件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 中略
- (2) 中略

(3) 市が他の地方公共団体（外国の地方公共団体を含む。）と結ぶ提携及び協定（以下「団体提携等」という。）のうち次に掲げるものの締結、変更又は廃止

ア 姉妹都市の提携

イ 友好都市の提携

ウ その他市政運営上特に重要と認められるもの

（議会の議決）

第3条 市長その他の執行機関は、前条各号に掲げるときは、議会の議決を経なければならない。

（議決事項）

第4条 第2条第1号に係る議決事項は、基本構想の全ととする。

2 第2条第2号に係る議決事項は、次に掲げるとおりとする。

(1) 部門計画の基本理念、基本方針その他の基本となる事項

(2) 部門計画の実施期間に関する事項

(3) 部門計画の実施に係る政策及び施策並びにこれらの目標に関する事項

3 第2条第3号に係る議決事項は、団体提携等の目的、相手方となる地方公共団体の名称、内容及び有効期間に関する事項とする。

（議会に報告すべき案件）

第5条 市長その他の執行機関は、第2条第2号アからオまでに掲げるもの以外の部門計画の策定、変更若しくは廃止をしたとき、又は同条第3号アからウまでに掲げるもの以外の団体提携等の締結、変更若しくは廃止をしたときは、これを議会に報告しなければならない。

（委任）

第6条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、議長が別に定める。



議案審議結果

～とよた市議会だより～

平成30年

3月
定例会号

※議案名など一部省略して記載しています

議案審議結果

3月市議会定例会に提出された案件

◆議案	採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く								
		自民クラブ 26名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
第1号	路上喫煙の防止等に関する条例	原案可決	26	0	10	0	4	0	3	0
2	幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例	//	26	0	10	0	4	0	1	2
3	個人情報保護条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	1	2
4	市職員給与条例及び市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
5	市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	0	3
6	市特別職職員の給与を定める条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	0	3
7	市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
8	市職員退職手当条例等の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	1	2
9	基金条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
10	市税条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
11	都市計画税条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
12	手数料条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	1	2
13	施設所在地の整理に伴う関係条例の整理に関する条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
14	美術館条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
15	青少年育成施設条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
16	自転車等放置防止条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
17	地域広場条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
18	知的障害者グループホーム条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
19	旅館業の施設の衛生措置及び構造設備の基準等に関する条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	1	2
20	国民健康保険条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
21	国民健康保険税条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	1	2
22	介護保険条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	1	2
23	指定居宅サービスの事業等の人員、設備、運営等に関する基準等を定める条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	1	2
24	後期高齢者医療条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	1	2
25	都市公園条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
26	地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
27	特別用途地区建築条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
28	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
29	市民山の家条例を廃止する条例	//	26	0	10	0	4	0	0	3
30	都市計画事業豊田梅坪西土地区画整理事業施行規程及び都市計画事業豊田梅坪東土地区画整理事業施行規程を廃止する条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
31	平成29年度一般会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	1	2
32	// 国民健康保険特別会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	1	2
33	// 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
34	// 分譲住宅建設事業特別会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
35	// 卸売市場特別会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
36	// 水道水源保全事業特別会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
37	// 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
38	// 介護保険事業特別会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	1	2
39	// 財産区特別会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
40	// 後期高齢者医療特別会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	1	2



3月市議会定例会に提出された案件

採決結果

会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く
 自民クラブ 26名 市民フォーラム 10名 公明党 4名 諸派 3名
 賛成 反対 賛成 反対 賛成 反対 賛成 反対

◆議案

第41号	平成29年度産業用地造成事業特別会計補正予算	原案可決	26	0	10	0	4	0	3	0
42	// 水道事業会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
43	// 下水道事業会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
44	平成30年度一般会計予算	//	26	0	10	0	4	0	1	2
45	// 国民健康保険特別会計予算	//	26	0	10	0	4	0	1	2
46	// 都市計画事業土地区画整理特別会計予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
47	// 分譲住宅建設事業特別会計予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
48	// 卸売市場特別会計予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
49	// 水道水源保全事業特別会計予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
50	// 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
51	// 介護保険事業特別会計予算	//	26	0	10	0	4	0	1	2
52	// 財産区特別会計予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
53	// 後期高齢者医療特別会計予算	//	26	0	10	0	4	0	1	2
54	// 産業用地造成事業特別会計予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
55	// 水道事業会計予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
56	// 下水道事業会計予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0
57	工事請負契約の締結（豊田スタジアムメインマスト及びサブトラス修繕工事）	//	26	0	10	0	4	0	3	0
58	工事請負契約の変更（一級河川安永川開水路整備工事（高橋細谷線関連））	//	26	0	10	0	4	0	3	0
59	// （一級河川安永川開水路整備工事（長興寺工区））	//	26	0	10	0	4	0	3	0
60	財産の取得（一級河川安永川河川改修整備用地（長興寺ほか地内））	//	26	0	10	0	4	0	3	0
61	包括外部監査契約の締結	//	26	0	10	0	4	0	3	0
62	特定事業契約の変更（豊田市東部給食センター改築整備運営事業）	//	26	0	10	0	4	0	1	2
63	市道の認定	//	26	0	10	0	4	0	3	0
64	健康増進計画の策定	//	26	0	10	0	4	0	3	0
65	教育行政計画の策定	//	26	0	10	0	4	0	1	2
66	市職員定数条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
67	消防団員等公務災害補償条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	0
68	平成29年度一般会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	3	0

◆同意

第1号	公平委員会委員の選任（再任：杉浦敏夫氏）	同意	26	0	10	0	4	0	3	0
2	教育委員会教育長の選任（新任：山本浩司氏）	//	26	0	10	0	4	0	3	0

◆報告

第1号	専決処分の報告（損害賠償額の決定2件、工事請負契約の変更7件）									
2	専決処分の報告（損害賠償額の決定1件）									
3	専決処分の報告（損害賠償額の決定3件、工事請負契約の変更1件）									

◆請願

第1号	「リゾート安曇野」の存続を求める請願書	不採択	0	26	0	10	0	4	3	0
-----	---------------------	-----	---	----	---	----	---	---	---	---

◆議員提出議案

第1号	豊田市議会の議決すべき事件に関する条例の一部改正条例	原案可決	26	0	10	0	4	0	3	0
-----	----------------------------	------	----	---	----	---	---	---	---	---



自民クラブ・市民フォーラム・公明党の各会派が太田市長に市政を問う!

自民クラブ

都築 繁雄



- ひとづくり
- くらしづくり
- まちづくり
- 平成30年度当初予算

質問 育成・教育

英国ダービーシャーとの姉妹都市提携20周年を迎える。今後、どのように国際化に対応した人づくりに取り組むかを問う。

答弁 市長

第2次豊田市国際化推進計画において、国際社会及び地域社会で活躍できる人材の育成を基本目標と定め、姉妹都市交流事業の推進を位置づけている。姉妹都市の米国デトロイト市や英国ダービーシャーとは、高校生派遣事業など国際化に対応した人づくりに取り組んできた。英国ダービーシャーとは、東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に入れ、青少年のスポーツ使節団の派遣を予定し、社会で活躍できる人材の育成を進めていく。【写真有】

質問 福祉

徘徊高齢者等の対策は重要かつ緊急の課題であるが、第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画も踏まえ、高齢者施策の方向性を問う。

答弁 市長

計画では、「つながり・支え合い・いつまでも明るく生きるまち」を本市の目指す姿として掲げている。この目指す姿を実現するため、地域共生の視点と医療と連動した地域包括ケアシステムの確立にポイントにおいて、計画策定をしてきた。今後高齢者施策を進めていく上では、高齢者のみでなく、分野に関わらず幅広くつながり、在宅を支援する相談機能や在宅医療を充実させ、地域の支え合い活動の拡大を目指していく。

質問 都市基盤

公共施設等総合管理計画を策定し推進を図っているが、今後、公共施設等の適切な管理をどう進めるか問う。

答弁 市長

公共施設等は、中長期的な視点から、将来の財政状況や人口動向等を見極め、総合的かつ計画的な管理が重要であり、老朽化対応として、安全・安心の確保を最優先に取り組んでいきたい。短期的には点検や修繕など日常管理の徹底、中長期的には長寿命化や予防保全などによる施設の更新時期の平準化やトータルコストの縮減に向けた取組を進めていく。公共建築物は施設の総量抑制の取組を進めていきたい。新たに(仮称)建築予防保全課を設置し、万全な施設管理体制を構築していく。

質問 予算編成にあたっての基本的な考え方

平成30年度当初予算案は、前年比20億円増で過去2番目の規模である。予算編成にあたっての市長の想いを問う。

答弁 市長

第8次総合計画を着実に推進すること、将来のまちづくりに向けた計画的な投資を行い、早期の効果発現を期待する事業へ適切に対応すること、財務体質の強化を図ることの3点を基本方針とした。ラグビーワールドカップ2019™の開催を1年後に控え、課題への早期対応を全庁の共通認識として示した。予算編成にあたり、必要となる財源として基金や市債を適切に活用し、市民が安全・安心に暮らすための取組、都心の魅力の向上等への取組に予算づけできたと考えている。



高校生英国ダービーシャー交流事業

市民フォーラム

作元 志津夫



- 未来予測からの施政方針「事業編」
- 未来予測からの施政方針「教育編」
- 未来予測からの施政方針「予算全般」

質問 社会変化と超高齢社会への適応

人生100年時代を想定し、全ての世代が生涯にわたっていきいきと活躍する生涯活躍都市とは、どのような都市なのか考えを問う。

答弁 市長

生涯にわたり活躍するとは、だれもが人生のさまざまなステージにおいて、その時々を求める生き方にチャレンジし、その人らしさを発揮し続けることであり、市民の充実感や幸福感が、互いを生かし合い支え合う住みよいまちが生涯活躍都市だと考える。市民が、主体的に自分の人生をデザインし、自ら望む活躍を実践していく力を育むことが必要。退職後の長い期間を含め、市民一人ひとりがいかに人生を設計し実現していくかを、サポートしていくことが重要と考える。

質問 産業の未来予測と強靱化への取組

次代の産業拠点としての機能の高度化に向けた取組として、未来都市研究会の狙いと、ものづくり創造拠点SENTANの進化を問う。

答弁 市長

未来都市研究会は、豊田市つながる社会実証推進協議会の内部で組織し、協議会活動の活性化を狙いとしている。豊田市の50年後の姿を大胆に予測し、直近10年間の具体的なビジョンをとりまとめ、情報発信していく予定。ものづくり創造拠点 SENTANは、AIやIoTを得意とするベンチャー企業や開放特許とのマッチングにより、生産性向上や新製品開発を支援。ものづくりのミライに挑戦する都市の拠点としての機能を発揮していく。



3月市議会定例会において、新年度に向けた「施政方針」に対し、それぞれの会派の代表者が2月26日に代表質問を行いました。その質問と答弁の一部を要約してご紹介します。

代表質問

質問 生涯を通じて学び・育ち続けられるまちの実現

一億総活躍社会の実現に向けた教育再生の取組が示される中、生き抜く力を育む学校教育の推進を問う。

答弁 市長

生き抜く力を育む学校教育を推進し、豊田市が好きで、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するためには、新学習指導要領の円滑な実施と、教育再生の取組につながる学校における働き方改革を進めていく必要がある。前者では、一人ひとりの実態を捉え、きめ細かな教育を推進するため、これまでの専門スタッフ等の人的配置を継続する。後者では、子どもと向き合う時間の確保のために、豊田市教職員多忙化解消プランに基づく取組を進めていく。【写真有】

質問 官民連携の更なる推進による地域経営の取組

鞍ヶ池公園や中央公園の整備に民間ノウハウを活用した手法が考えられるが、官民連携による新たな公共施設のあり方を問う。

答弁 市長

平成29年6月に都市公園法が改正され、売店などの公園施設の設置または管理を行う民間事業者を、公募により選定できる公募設置管理制度が創設された。この制度では、収益を公園整備に還元することを条件として、看板や広告塔の設置などが特例として可能となる。制度の活用も視野に、地域の魅力を生かし、賑わいあふれる空間づくりを推進するとともに維持管理費の削減に向けた新たな公園管理の仕組づくりを官民連携で構築していく。



とよた大好きっ子カリキュラムの様子(棒の手)

公明党

小島 政直



- 安全・安心・快適・住み続けたい豊田市の構築
- 次代を担い、築く子どもたちへの教育のあり方
- 平成30年度当初予算

質問 支え合いの地域共生社会の実現に向けて

健康で支障なく生活できる健康寿命の延伸は重要、その上で活動寿命という概念を提起する。活動寿命を延ばす考えを問う。

答弁 市長

活動寿命の考えとその延伸は、超高齢社会に適應するものと考えている。活動意欲のある人を受け止め、活動への一歩を躊躇している人に対しては後押しとなるような、きっかけを提供することが大切であり、高年大学の名称をとよたシニア・アカデミーに改めるなど、支援を強化する。個人の体力や生活環境に合わせて活動を選択できることが、活動寿命の延伸につながるものと考え、様々な分野での支援施策や交流館の柔軟な運営ルールの導入など環境整備に取り組む。【写真有】

質問 豊田市独自の魅力創出に向けて

2020東京オリンピック・パラリンピックにおける英国のホストタウンに登録されたが、この事業をどう展開するのか問う。

答弁 市長

英国のホストタウンは、姉妹都市である英国ダービーシャーはもちろんのこと、英国との関係を深める好機として捉え、市民の国際交流や地域振興の促進に向け積極的に取り組む。英国チームの事前宿泊が実現するよう、ダービーシャーに派遣した職員により、関係機関へ誘致活動に取り組んでいる。姉妹都市及びホストタウンについて、国内外へ広く積極的に情報発信し、本市への関心を高めることで誘客を図り、地域の活性化と観光振興に繋げていく。

質問 変化の時代を生き抜いていくための教育の実現

変化の時代を生き抜く本市の子どもたちの教育、多様な個性が生かされる教育の実現に向け必要なもの、市の役割を問う。

答弁 市長

子どもたちが多様な個性・能力を伸ばし、豊かな人生を過ごすことができるようになるためには、一人ひとりに、それぞれの能力に応じた教育機会を確保することが必要である。市の果たす役割としては、多様化・複雑化する教育的ニーズに対応し、子どもたちが安心して楽しく学ぶことができるよう、よりきめ細やかな支援を行っていく。

質問 平成30年度当初予算の基本方針と財政運営

人口減少社会の到来などの大きな影響がでる前に、歳入確保に向けての対策、及び事業・事務の最適化への取組を問う。

答弁 市長

歳入確保に向けた取組は、国への要望活動を含めた、国庫補助金等の積極的な確保、市有財産最適化方針に基づく売却・貸付の推進、広告事業の拡大などである。歳入確保の推進は、持続可能な財産運営を図る上で重要な取組で、今後も積極的に取り組む。未収債権の削減にも取り組み、債権管理体制の充実を図っていく。事業・事務の最適化は、見直し対象とする事業・事務を抽出し、対象案件について、見直し後の影響を適切に見極め、見直しを進める。



高年大学の活動の様子



市政を問う!

2月27日から3月1日にかけて、14人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

梅村 憲夫

自民クラブ



- 重症心身障がい児・者を含めた障がい者支援
- 児童虐待防止策の強化

質問 親の高齢化と親亡き後の暮らし

親が安心できるような障がい児・者の環境づくりを願いたいですが、今後の方向性をどう考えているのか大局的な見解を問う。

答 弁 福祉部

新たな制度として、居住の場となるグループホームの受入れ補助制度、介護者の負担軽減のための補助制度、日中活動の場所となる県営手呂住宅跡地における施設整備を進めている。福祉サービスを包括的に利用するためにも、相談支援専門員がコーディネーターとして生活全般を支援する。また、親が自分たち亡き後の子どものことを心配に思う強い気持ちを聞き、話し合えるような機会を作っていきたい。

榎屋 小百合

公明党



- 防災・減災対策
- 地域回想法の推進
- がん対策

質問 避難所の運営について

避難所の運営においては、女性の視点が重要である。避難所運営マニュアルの女性の視点について問う。

答 弁 地域振興部

地域で構成する避難所運営委員会への参画、避難所のプライバシー対策、避難所の安全対策の3点に女性の視点を入れた見直しを行う。1点目は運営委員の構成員のうち女性の割合を3割以上となるよう努めるなど、避難所運営委員会に女性の参画を明確化。2点目は安心して避難所生活ができるよう、女性専用スペースを設けることを明記し、プライバシーに配慮。3点目は夜間の見守りの明記や、女性警察官の派遣を依頼するなど安全対策も記載する。【写真有】

窪谷 文克

自民クラブ



- 教職員多忙化解消プラン
- 新豊田市商業活性化プラン

質問 新豊田市商業活性化プランの内容

個店の店舗経営などの課題解決に向けたアドバイザー派遣事業の利用が伸び悩んでいる。新しいプランの改善策、利用促進策を問う。

答 弁 産業部

現行の商店街が企画・招聘したアドバイザー派遣費用に対する支援は、残念ながら利用が図られなかった。そのため、市が直接、商店街へアドバイザーを派遣する仕組みを設けていくことにした。平成30年度は、取組の意向もある三河豊田駅周辺の大林商工発展会、みゆき商店街振興組合、豊田山市之手発展会などでの実施を考えている。【写真有】

山口 光岳

自民クラブ



- 豊田市における教育施策の現状と今後

質問 ICT機器を活用した教育

全小中学校へのタブレット一体型パソコン導入を早急に進めるべきと提言するが、市としての考えを問う。

答 弁 学校教育部

現在、各校のコンピュータ室には、デスクトップ型パソコンが最大で40台設置されている。平成30年度には、モデル校4校を除く、小・中・豊田特別支援学校の100校全ての学校で、タブレット一体型パソコンに更新する。持ち運び可能なタブレット一体型パソコンに更新することで、場所を選ばず、さまざまな活動ができる環境を整備し、子どもたちが主体となって活動する授業を展開していきたいと考えている。

清水 郁夫

自民クラブ



- 地域と学校をつなぐ教育環境の整備
- 市民にわかりやすい市の施策の周知
- 都市計画の進め方

質問 公共建築物の予防保全対策

公共建築物の修繕をどのように計画していくのか、予防保全の前倒しに対する考え方を問う。

答 弁 都市整備部

各施設が抱える老朽化の問題は、まず正確な状況把握に努めることが重要である。長期修繕計画においては、建築物の建築年度や、各設備の耐用年数から、修繕の具体的な内容や、実施時期を判断していく。更に、設備の劣化状況は、様々な条件により異なることも想定されることから、今後は、通常の法定点検や定期点検に加え、任意点検を追加するなど、不具合個所の早期発見に努め、前倒しで早めの処置が可能となるよう進めていく。

○榎屋小百合議員関連



女性の視点を取り入れた避難所運営マニュアル

○窪谷文克議員関連



永覚新町商店街の取組の様子



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

大村 義則

諸派



- KITARAオープン後の現状と対策
- 真の「働き方改革」を求める

質問 無期雇用転換ルールの徹底

市が出資する協会・公社で働く非正規職員のうち、有期雇用継続5年超で働く人数及び無期雇用転換への対応はどのようか問う。

答弁 総務部

平成29年4月1日時点の調査結果で、5年を超えて働いている有期雇用契約者は、協会公社等全体で471名である。労働契約法の改正に関する対応については、平成27年度から市と各協会公社の間で検討を進めてきた。平成30年4月から協会公社等においては、職員の就労に際して期限に定めない雇用区分を創設し、有期雇用から無期雇用への転換を進める。無期雇用の転換と合わせて、昇給の仕組の導入や、休日制度の拡充など、処遇の改善を図っていく。

中村 孝浩

市民フォーラム



- 公共施設等総合管理計画の推進と財産の有効活用

質問 今後の計画の推進に向けた取組

公共施設等の情報を総合的に管理し、一目で分かるようデータの一元化を提言するが、市の考え及び市民周知方法について問う。

答弁 企画政策部

公共施設等に係る維持管理経費の実績や見込みの経年変化のほか、修繕・更新に関する今後の予定などを一元的に整理し、施設ごとに比較可能とするなど、個別施設計画の策定状況に合わせて、誰にも分かりやすい必要なデータの見える化に取り組んでいく。また、市民への周知については、計画段階から関係する地域や市民を巻き込みながら、幅広い視点から最善の方法を模索し、共働による取組を進めていくなかで理解や周知を図っていく。

北川 敏崇

自民クラブ



- 持続可能な公共交通の将来像
- 安心して在宅医療ができる環境づくり
- 地域で創る子どもの福祉

質問 持続可能な公共交通

小型モビリティのシェアリングなど、新しい公共交通システムの構築に向けた取組について内容と今後の展開を問う。

答弁 都市整備部

民間事業者が進める超小型電気自動車のシェアリングサービスは、主に都市部における末端交通として公共交通を補完し、事業の定着化に向けた支援を続ける。足助地区などで実証しているあすけあいカーでは、住民が所有する車両で乗車の申込みに応じて運ぶ仕組みを実証し、平成31年度から実運用化を目指す。高橋地区においてはタクシー活用の実証実験を間もなく開始する。様々なモデルケースとなると考え、他の地域への展開も想定している。【写真有】

吉野 英国

市民フォーラム



- スマートシティの実現に向けて

質問 とよたエコフルタウン情報発信の進化

実証状況をPRする面でもエコフルタウンでの自動運転実証の取組を推進するべきと考えるが、市の見解を問う。

答弁 企画政策部

現在、自動運転技術に関して、全国の企業や大学等により様々な取組がされ、足助地区においても平成29年に名古屋大学COI事業による「ゆっくり自動運転®」の実証実験が行われた。エコフルタウンで自動走行の実証事業が行えるように環境を整え、企業や大学による実証を誘致していく。自動駐車実証や無人自動車の呼び出し実証等についても、エコフルタウンを活用できるよう準備を進める。豊田都市交通研究所と連携した実証も今後協議を進めていきたい。【写真有】

塩谷 雅樹

市民フォーラム



- 賑わいと活力あるまちづくり

質問 商業活性化に向けた取組

今後も中心市街地の賑わいと活力を向上していくために、前期計画の評価を踏まえ、次期計画の取組について問う。

答弁 産業部

現行の豊田市商業活性化プランでは、中心市街地について中心市街地活性化基本計画と連動した取組を行い、また地域コミュニティを担う商業機能の強化については、商店街の人材育成事業の支援などを行い、地域全体の商業活性化の取組を進めてきた。第3期中心市街地活性化基本計画では、市街地の整備、都市施設の整備、まちなか居住の推進に取り組みながら、商業の活性化・回遊性の向上により、魅力あふれる中心市街地の商業の活性化を図っていく。

○北川敏崇議員関連



あすけあいプロジェクトの取組

○吉野英国議員関連



ゆっくり自動運転。実証実験の様子



市政を問う!

○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ
(中項目)
実際に質問した内容(小項目)

答弁 回答した部局名
質問に対する市の担当部局の回答

杉本 寛文

自民クラブ



- ラグビーワールドカップ2019™開催の効果
- 上下水道事業の健全経営に向けて

質問 ラグビー観戦客が本市に与える効果

外国からのラグビー観戦客が快適に楽しむため、ファンの特徴をまちづりにどう生かす準備をするか問う。

答弁 経営戦略部

スカイホール豊田で開催を予定しているファンゾーンや豊田市駅前でのおもてなしエリアはもちろんのこと、地元の商店や関連するイベント会場等での、観戦客の消費動向等を踏まえた準備を進めることが必要である。本市で安心して楽しんでいただき、多くの消費を促すためには、外国語ボランティアや多言語のマップ・サインによる案内の充実、Wi-Fi環境の整備、キャッシュレス化への対応などが必要と考えており、引き続き準備を進めていく。

安藤 康弘

市民フォーラム



- 道路交通環境の整備

質問 産業活動を支えるアクセス道路の整備

平成33年3月末の供用に向け事業が進められる上郷スマートインターチェンジの整備効果と供用に向けた取組を問う。

答弁 建設部

整備効果としては、周辺地域がトヨタ自動車上郷工場を始めとする工場集積地であることから、高速道路へのアクセス時間の短縮により物流コストの削減が図られ、更なる産業活動の活性化が期待される。また、豊田インターチェンジ周辺に集中している交通についても渋滞緩和につながるものと考えている。平成32年度末の供用を目指し、中日本高速道路(株)と調整を行い、事業の完成に向けた工事発注を平成30年度中に取り組んでいく。

浅井 保孝

自民クラブ



- 子育て支援
- 交通安全計画の施策・事業の現状と課題

質問 生活道路における歩行空間の整備

地域が要望する交通安全施設整備について、管轄分の4割程を翌年に繰り越すとのことだが、早急に取り組むべきと考える。見解を問う。

答弁 地域振興部

交通安全施設の整備については、地域と連携することで危険箇所を改善し、修繕すべき箇所を補修することは、本市にとって大変意義あるものと認識している。平成30年度については、平成29年度の繰越分を早期に整備を完了させるとともに、平成30年度に申請される地域からの要望等についても、年度内に整備を完了させるよう、予算を確保し、交通事故防止を図っていく。【写真有】

根本 美春

諸派



- 名鉄バス路線廃止と公共交通の考え方
- 生活保障拡充と子どもの貧困対策を

質問 名鉄バス路線廃止問題と市の対応

名鉄バス路線の廃止で住民に影響が出ることに對して、とよたおいでんバスでの対応を提案するが、市の考えを問う。

答弁 都市整備部

名鉄バス路線は、とよたおいでんバスと同じく本市の公共交通ネットワークを担う基幹バスであり、名鉄バス株式会社による廃止決定は、沿線利用者の利便性が損なわれるところから、代替措置が必要である。東山住宅線に対しては、とよたおいでんバス旭・豊田線及び豊田・渋谷線で、九久平線に対しては、とよたおいでんバス下山・豊田線で調整する方針を2月の公共交通会議で諮り、承認を得ている。現在、本市では、代替措置に向けた準備調整を進めている。

議会傍聴に お越しく下さい

●議会の傍聴とは

本会議や委員会の様子は、子どもを含めどなたでも傍聴していただけます。当日、傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴券が交付された後、会場へ出入りできます。車いすでの傍聴や盲導犬を伴った傍聴も可能です。また、手話通訳者をご希望の方は、5日前までに議会事務局までお申し込みください。

★代表・一般質問の質問者や質問項目は、市議会ホームページで事前に公開しています。



市議会ペンギンからの傍聴中でのお願い。
傍聴される際は、静粛にお願いします。

●議場の見学とは

本会議を開催していない日は、議場を見学することができます(土・日・祝日を除く)。職員がご案内しますので、見学をご希望の際は、事前に議会事務局までご連絡ください。

また、各種団体での受入れもしておりますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせは豊田市議会事務局まで

傍聴受付

※会議が始まる30分前から受付
本会議→市役所南庁舎8階
委員会→同7階委員会室前

※期間や日程は市議会だより、市議会ホームページなどをご参照ください。

○浅井保孝議員関連



自治区要望によって設置実現したカーブミラー一例



平成30年度当初予算を審査しました! ～どのように税金を使う予定か審査しました～



予算ってなに?その予算を議会で審査したってことを詳しく教えてよ!

予算はね、簡単にいうとこれから1年間、何にいくらお金(税金)を使うか決める計画だよ。市議会議員が市民のみなさんからの税金がムダなく適正に使われるかチェックしましたので、詳しく紹介していくよ!



豊田市議会キッズ用ページキャラクター「市議会ペンギン」

市の会計は主に一般会計と国民健康保険などの特別会計や水道・下水道事業会計に分かれており、それぞれ審査します。本市議会では、予算決算委員会という専門的にこれらを審査する場を設け、また詳細については分科会という部局ごとに割り振った会議体で細かくチェックしています。

市の予算



平成30年度 当初予算のポイント

・ラグビーワールドカップ2019™の開催を1年後に控える ・交通安全、防災、防犯、公共施設の適正管理等への対応

「危機感」「希望」「行動」

元気で明るいまちづくり

安全・安心なまちづくり



WE LOVE とよた の深化

「わくわくする世界一楽しいふるさと・豊田市」へ

議会の審査体制

予算決算委員会

企画総務
分科会

地域生活
分科会

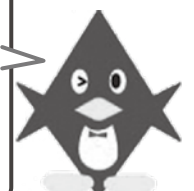
教育社会
分科会

環境福祉
分科会

産業建設
分科会

内容については、各分科会で詳しく審査をしました。

さらに詳細な内容については、こちらをご覧ください。
予算の詳細はコチラ↓





市民シンポジウムの報告

～ 林家 源平 師匠 基調講演 ～

平成30年1月13日(土)午後2時から、福祉センターホールにおいて、落語家の林家源平師匠をお招きし、「豊田市でずっと暮らしてつづけるために～在宅医療・介護の在り方～」をテーマに市民シンポジウムを開催しました。



▲今後の連携を誓い握手をするパネリストたち

今回は市議会初の取組として豊田加茂医師会と共働で開催し、第一部では基調講演、第二部ではパネリスト6名をお招きし、在宅医療・介護の在り方、地域のネットワークなどについてパネルディスカッションを行いました。

基調講演・パネルディスカッションでは医療・介護の各分野の専門家による現場の声や実情事例が紹介され、「また参加したい」という声が多く、アンケートでも好評をいただきました。



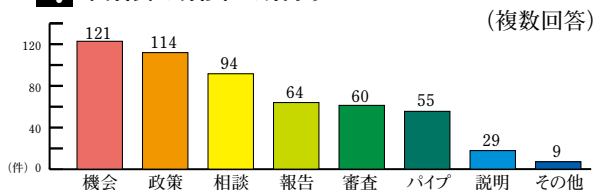
シンポジウム動画



▲林家 源平 師匠

アンケート結果

Q 市議会や議員へ期待すること



(複数回答)

- 【機会】市民の意見・要望を聴く機会を設ける
- 【政策】市・市民の利益となるような政策の提言
- 【相談】市民生活で困っていることなどの相談相手
- 【報告】議会での審議結果などについて市民へ報告
- 【審査】市の行政運営などに対する審査機能の向上
- 【パイプ】市と県・国のパイプ役となる
- 【説明】議会の仕組みなどについて市民へ説明

小学生の議会傍聴・議場見学

2月27日(火)冷田小学校の児童が授業の一環で議会傍聴・議場見学に訪れました。熱心な様子で一般質問の様子を傍聴したり、メモを取りながら議場を見学していました。

熱心に説明を聞く小学生たち▶



市議会の予定

5月市議会臨時会は5月16日(水)開会予定です

6月市議会定例会は6月 8日(金)開会予定です

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

豊田市議会 検索

【動画で見る!代表・一般質問をクリック!】



録画放送は、質問者ごと、大項目ごとで閲覧可能です。
「市議会だより」のバックナンバーや会議録も
ご覧いただけます。



豊田市議会ホームページ

http://toyota-shigikai.jp

(動画で見る!代表・一般質問)



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継
チャンネル/78.6MHz



豊田市議会は、古紙配合率80%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています

※この冊子は、折込み「3月市議会定例会号」です。